

ブルーハーツが聴こえる (2017)

メディア 映画

ジャンル コメディ SF ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 159分

初公開日 2017/04/08

公開情報 日活=ティ・ジョイ

映倫 G

【キャッチコピー】

いつまで経っても変わらない、そんな物あるだろうか。

【解説】

李相日、清水崇、井口昇はじめ気鋭の監督6人が伝説のバンド“ザ・ブルーハーツ”にオマージュを捧げるべく、それぞれに思い入れのある名曲をモチーフに競作したオムニバス・ムービー。出演は尾野真千子、市原隼人、斎藤工、優香、永瀬正敏、豊川悦司ほか。「ラブレター」（井口昇監督）——プロの脚本家として活躍する大輔は、自らのイケてない高校時代を題材にシナリオを執筆中に、本当に高校時代にタイムスリップしてしまう。しかもその日は、大輔が片想いしていた美少女・彩乃が事故死した1989年12月8日だったが…。「少年の詩」（清水崇監督）——戦隊ヒーローに憧れる少年、健。朝からシングルマザーの母と喧嘩して一人ぼっちの誕生日を迎えようとしていた。そんな彼にあるプレゼントが届くが…。「1001のバイオリン」（李相日監督）——福島原発の元作業員、達也。震災後は家族4人で東京に移り住んでいたが、故郷への思いは募るばかり。ある日、作業員時代の後輩が訪ねてきたのを機に、2人で故郷の立入禁止区域を目指す…。ほかに、煮え切らない恋愛に悩むアラサー女子の焦燥をコミカルに描く飯塚健監督「ハンマー（48億のブルース）」、刑務所惑星を目指す囚人護送船を舞台に描く下山天監督のSFアクション「人にやさしく」、最愛の女性の亡骸を葬儀の後に奪い去り、アパートの部屋で一緒に暮らし始める男の究極の純愛を描く工藤伸一監督「ジョウネツノバラ」の全6編を収録。

【クレジット】

監督	飯塚健	「ハンマー（48億のブルース）」	
	下山天	「人にやさしく」	
	井口昇	「ラブレター」	
	清水崇	Takashi Shimizu	「少年の詩」
	工藤伸一	「ジョウネツノバラ」	
	李相日	「1001のバイオリン」	
脚本	飯塚健	「ハンマー（48億のブルース）」	
	下山天	「人にやさしく」	
	鈴木しげき	「人にやさしく」	
	井口昇	「ラブレター」	
	清水崇	Takashi Shimizu	「少年の詩」
	石川健太	「少年の詩」	
	永瀬正敏	Masatoshi Nagase	「ジョウネツノバラ」
	小嶋健作	「1001のバイオリン」	
音楽	海田庄吾		

吉川清之
福田裕彦
森野宣彦
沖田純之介
伊藤ゴロー

出演	尾野真千子		「ハンマー（48億のブルース）」
	角田晃広		「ハンマー（48億のブルース）」
	萩原みのり		「ハンマー（48億のブルース）」
	伊藤沙莉		「ハンマー（48億のブルース）」
	市原隼人		「人にやさしく」
	高橋メアリージュン	Maryjun Takahashi	「人にやさしく」
	浅利陽介		「人にやさしく」
	加藤雅也	Masaya Kato	「人にやさしく」
	西村雅彦		「人にやさしく」
	斎藤工		「ラブレター」
	要潤		「ラブレター」
	山本舞香		「ラブレター」
	優香		「少年の詩」
	内川蓮生		「少年の詩」
	新井浩文		「少年の詩」
	永瀬正敏	Masatoshi Nagase	「ジョウネツノバラ」
	水原希子		「ジョウネツノバラ」
	豊川悦司	Etsushi Toyokawa	「1001のバイオリン」
	小池栄子		「1001のバイオリン」
	三浦貴大		「1001のバイオリン」
	石井杏奈		「1001のバイオリン」
	荒木飛羽		「1001のバイオリン」